

たけうち

としこ

武内俊子 パネル展

— 三原が生んだお母さん詩人 —



三原市出身の童謡詩人武内俊子(1905-1945)は、三原市西町の浄念寺に生まれました。結婚して東京に移り住み、新しい環境のもと同人誌に参加して童謡や童話の創作に取り組み、詩人の野口雨情に師事しました。

昭和初期にあって、育児と両立させ創作に励み、当時の主要児童誌『コドモノクニ』や『幼年倶楽部』に次々と作品を発表しました。1937年、キングレコードの童謡シリーズの一曲として「かもめの水兵さん」が武内俊子の作詞、河村光陽の作曲、河村順子の歌によって発表され、大ヒットを記録しました。その後も河村光陽らの作曲で「赤い帽子・白い帽子」「りんごのひとりごと」「船頭さん」などのヒットを連発し、一時代を築きました。これらの歌は日本全国の子どもたちに愛唱されるようになりました。

若くして病没しますが、そのわずかな歳月の間に作られた数々の詩は、やさしく温かみがあります。特に、子供たちへの愛情に満ちた詩が多く、武内俊子の子どもに対する思いが強く伝わってきます。

本展では、武内俊子が世に出るきっかけとなった詩集『風』(1933年出版)で発表した詩を紹介するほか、「かもめの水兵さん」の誕生秘話や貴重な写真をパネル展示します。



「女流詩人武内俊子誕生記念碑」
「かもめの水兵さん」の歌詞が刻まれた碑
(宮浦公園)

これからも多くの人に、武内俊子のやさしい詩が歌い続けられますように。



歌碑「りんごのひとりごと」
(宮浦公園)



2021年3月21日(日)11時 開演(10:30開場)

うたはたのしい!

0さいからのコンサート

うた: 東京混声合唱団

ピアノ: 鈴木慎崇

三原市芸術文化センター ポポロ ホール